



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 シキボウ株式会社

コード番号 3109 URL <http://www.shikibo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 能條 武夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務部担当、経営管理部長 (氏名) 清原 幹夫

TEL 06-6268-5411

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,248	3.3	1,179	△12.5	901	△5.5	428	△9.7
25年3月期第2四半期	21,545	△4.8	1,348	△7.7	953	△7.0	474	△30.2

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 950百万円 (59.8%) 25年3月期第2四半期 594百万円 (△24.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.63	—
25年3月期第2四半期	3.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	88,757	29,679	32.1
25年3月期	87,677	28,984	31.8

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 28,531百万円 25年3月期 27,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	5.1	2,800	21.5	2,000	10.3	1,000	21.7	8.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	121,108,290 株	25年3月期	121,108,290 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	3,145,493 株	25年3月期	3,142,847 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	117,964,522 株	25年3月期2Q	119,041,459 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の連結売上高は222億48百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は11億79百万円（同比12.5%減）、経常利益は9億1百万円（同比5.5%減）、四半期純利益は4億28百万円（同比9.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

(繊維事業)

原糸販売分野では、海外関係会社において旺盛な需要があり、効率的な操業の実現によるコスト低減効果で好転いたしました。

テキスタイル分野では、百貨店・アパレルなどでのカジュアル素材が低迷いたしました。中東関連では当社差別化素材が好調に推移しており、また国内外生産子会社による生産連携の効果も寄与し堅調に推移いたしました。

製品分野では、カジュアル衣料の不振が継続する中、当社グループの品質・管理能力で高い評価を得たことから売上高は増加しましたが、中国生産のコスト上昇と急激な円安の影響を受け苦戦いたしました。

以上の結果、繊維事業全体としての売上高は137億26百万円（前年同期比7.7%増）となり、営業利益は1億11百万円（同比42.5%減）となりました。

(産業材事業)

産業資材分野では、製紙用ドライヤーカンバスは、主要顧客である国内製紙会社の生産活動が円安による輸入紙の減少・輸出紙の増加から持ち直しの傾向にありますが、国内需要は依然として厳しい状況で推移した結果、カンバス需要は減少を余儀なくされました。フィルタークロスは、国内製造各社の操業に大きな回復は見られない中、顧客企業での生産中止や生産拠点の移転が相次ぎ需要が減少いたしました。

機能材料分野では、化成系事業は化学品の輸出が堅調に推移し、また食品用途の多糖類も受注が伸長した結果、増収となりました。複合材料事業は電力分野向けのFRP部材をはじめ、全般にわたり受注状況に若干の回復が見られ増収となりました。プリント配線基板事業は依然として厳しい市況が続いており減収となりました。

以上の結果、産業材事業全体としての売上高は58億96百万円（前年同期比4.4%減）となり、営業利益は2億90百万円（同比23.5%減）となりました。

(不動産・サービス事業)

不動産賃貸事業は堅調に推移いたしました。リネン事業は観光客の戻りもあり順調に推移いたしました。物流事業は取扱荷物量の減少、ゴルフ場事業は猛暑の影響により苦戦いたしました。

以上の結果、不動産・サービス事業全体としての売上高は28億68百万円（前年同期比0.7%減）となり、営業利益は9億52百万円（同比2.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は887億57百万円となり、前年度末に比べ10億79百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

負債は、590億78百万円となり、前年度末に比べ3億85百万円の増加となりました。これは、主に仕入債務が増加したことによるものであります。

純資産は、296億79百万円となり、前年度末に比べ6億94百万円の増加となりました。これは、主に為替変動に伴う為替換算調整勘定の増加によるものであります。その結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.3ポイント増加し、32.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による積極的な経済・金融政策効果により、円高の是正や株価の上昇が進み、輸出関連企業を中心に生産活動に回復が見られ、個人消費では高級品需要が活発化するなど明るい兆しが見えてまいりました。しかしながら、雇用情勢に幾分の回復は見られるものの、勤労者所得の改善が遅れる一方で、エネルギーや生活必需品価格が上昇に転じており、消費者の節約マインドは依然として続いています。今後の見通しにつきましては、不安定な海外要因による景気減速リスク、また、来年4月実施の消費税増税による景気腰折れ懸念もあり、先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

なお、平成25年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,283	4,569
受取手形及び売掛金	10,485	10,151
有価証券	150	420
商品及び製品	4,994	5,170
仕掛品	1,688	1,880
原材料及び貯蔵品	1,085	1,025
繰延税金資産	352	375
その他	747	1,049
貸倒引当金	△83	△87
流動資産合計	23,704	24,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,732	41,057
減価償却累計額	△26,834	△27,312
建物及び構築物(純額)	13,898	13,745
機械装置及び運搬具	29,866	30,027
減価償却累計額	△28,032	△28,199
機械装置及び運搬具(純額)	1,833	1,827
工具、器具及び備品	1,519	1,553
減価償却累計額	△1,429	△1,442
工具、器具及び備品(純額)	90	110
土地	43,706	43,706
リース資産	1,022	806
減価償却累計額	△642	△434
リース資産(純額)	379	372
建設仮勘定	216	497
有形固定資産合計	60,124	60,260
無形固定資産	262	239
投資その他の資産		
投資有価証券	1,214	1,314
繰延税金資産	1,774	1,797
その他	697	681
貸倒引当金	△100	△91
投資その他の資産合計	3,586	3,701
固定資産合計	63,973	64,202
資産合計	87,677	88,757

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,022	5,380
短期借入金	14,848	13,491
1年内償還予定の社債	680	920
未払費用	568	564
未払法人税等	307	417
未払消費税等	186	66
賞与引当金	568	556
その他	1,318	1,228
流動負債合計	23,499	22,624
固定負債		
社債	1,420	2,040
長期借入金	12,698	13,146
繰延税金負債	1,044	1,055
再評価に係る繰延税金負債	7,505	7,505
退職給付引当金	4,499	4,667
役員退職慰労引当金	134	140
修繕引当金	190	202
長期預り敷金保証金	6,599	6,590
長期前受収益	259	270
その他	841	834
固定負債合計	35,193	36,453
負債合計	58,693	59,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	998	998
利益剰余金	5,081	5,273
自己株式	△293	△293
株主資本合計	17,122	17,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	59
繰延ヘッジ損益	31	6
土地再評価差額金	12,743	12,743
為替換算調整勘定	△2,061	△1,592
その他の包括利益累計額合計	10,737	11,216
少数株主持分	1,125	1,148
純資産合計	28,984	29,679
負債純資産合計	87,677	88,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	21,545	22,248
売上原価	17,334	18,218
売上総利益	4,210	4,030
販売費及び一般管理費	2,861	2,850
営業利益	1,348	1,179
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	10	9
持分法による投資利益	25	2
貸倒引当金戻入額	61	—
為替差益	—	50
雑収入	46	55
営業外収益合計	147	120
営業外費用		
支払利息	288	253
退職給付費用	70	50
為替差損	58	—
雑支出	125	95
営業外費用合計	542	399
経常利益	953	901
特別利益		
投資有価証券売却益	16	—
固定資産売却益	—	3
出資金売却益	9	—
その他	0	—
特別利益合計	26	3
特別損失		
投資有価証券評価損	159	—
固定資産除却損	2	45
その他	0	6
特別損失合計	162	52
税金等調整前四半期純利益	817	852
法人税、住民税及び事業税	336	425
法人税等調整額	△24	△40
法人税等合計	312	384
少数株主損益調整前四半期純利益	505	467
少数株主利益	30	38
四半期純利益	474	428

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	505	467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	35
繰延ヘッジ損益	△36	△23
為替換算調整勘定	128	429
持分法適用会社に対する持分相当額	8	42
その他の包括利益合計	89	483
四半期包括利益	594	950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	566	907
少数株主に係る四半期包括利益	28	43

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	817	852
減価償却費	881	856
長期前払費用償却額	16	12
のれん償却額	5	5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	200	136
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13	5
修繕引当金の増減額 (△は減少)	0	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△171	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	△12
受取利息及び受取配当金	△14	△12
支払利息	288	253
為替差損益 (△は益)	61	△51
持分法による投資損益 (△は益)	△25	△2
固定資産処分損益 (△は益)	1	18
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△16	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	159	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,622	440
たな卸資産の増減額 (△は増加)	224	△129
仕入債務の増減額 (△は減少)	△787	△121
その他	49	△432
小計	3,304	1,822
利息及び配当金の受取額	14	12
利息の支払額	△283	△253
法人税等の支払額	△351	△309
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,682	1,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△235	△405
有形固定資産の売却による収入	1	6
有価証券の取得による支出	—	△400
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	27	—
定期預金の払戻による収入	192	234
定期預金の預入による支出	△185	△236
その他	5	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196	△811

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,910	△1,377
長期借入れによる収入	4,900	3,300
長期借入金の返済による支出	△3,123	△2,832
社債の発行による収入	1,200	1,200
社債の償還による支出	△297	△340
自己株式の取得による支出	△271	△0
配当金の支払額	△238	△232
少数株主への配当金の支払額	△21	△20
その他	△108	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△870	△388
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	78
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,619	150
現金及び現金同等物の期首残高	3,703	4,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,322	4,309

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	産業材事業	不動産・ サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,747	6,166	2,630	21,545	—	21,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	258	258	△258	—
計	12,747	6,166	2,889	21,803	△258	21,545
セグメント利益	193	379	979	1,552	△203	1,348

(注) 1 セグメント利益の調整額△203百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	産業材事業	不動産・ サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,726	5,896	2,625	22,248	—	22,248
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	243	243	△243	—
計	13,726	5,896	2,868	22,491	△243	22,248
セグメント利益	111	290	952	1,355	△175	1,179

(注) 1 セグメント利益の調整額△175百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。